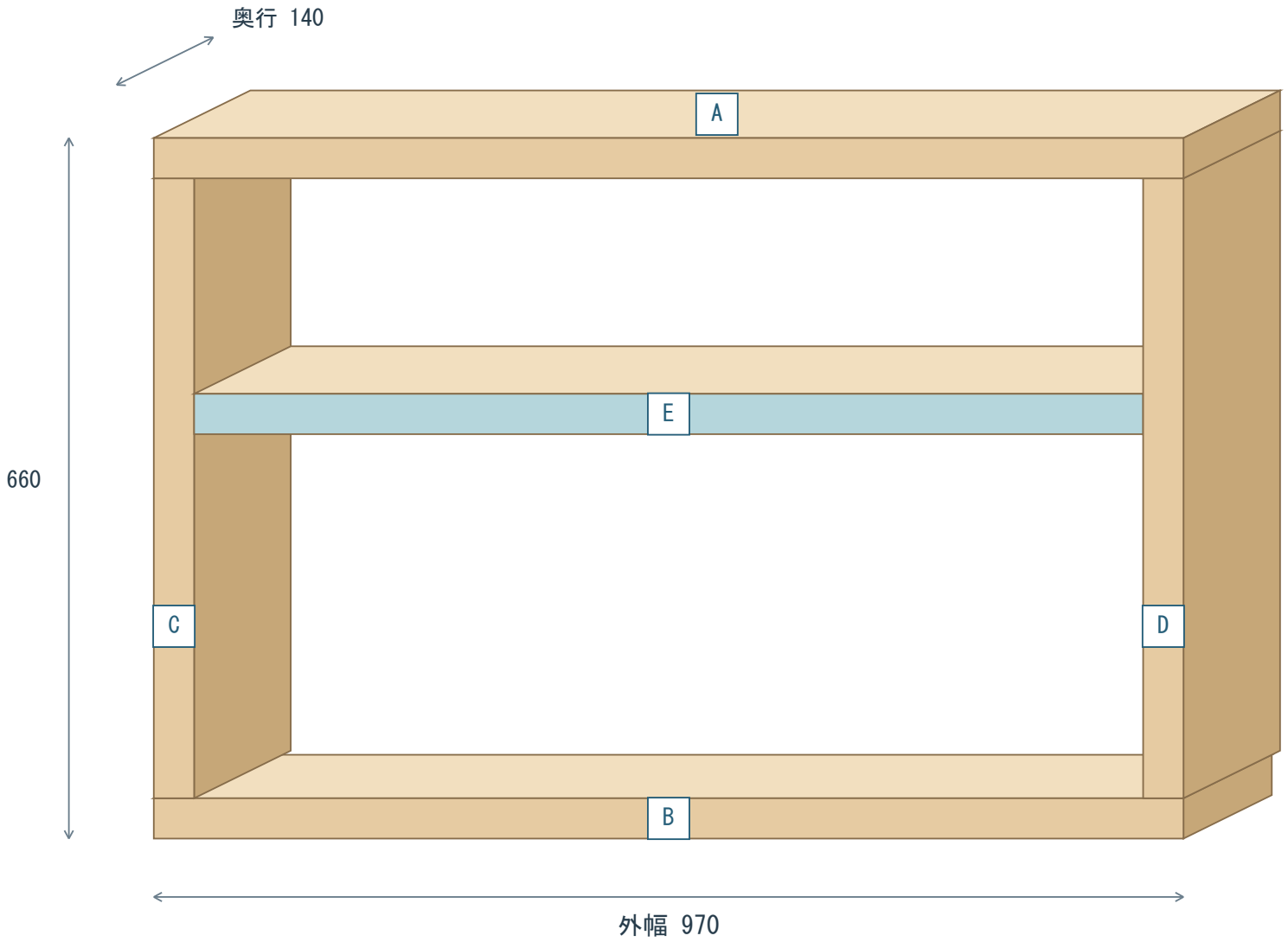
2×6材｜完成立体図と木材費

共通外幅970・高さ660／中棚の厚み中心400／合板の前板・別の横桟なし



設計条件

材厚：38

側板の長さ：584

中棚の長さ：894

棚上面：419

棚下面：381

巾木の逃げ：高さ65

深さ12

木材だけの費用

1,780円 × 3本

合計 5,340円

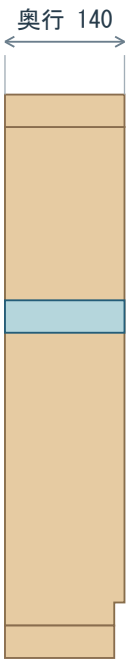
立体図は構成を示す模式図です。巾木の切り欠き形状は2・4ページを参照。

青い中棚の前端を枕位置へ合わせます。高さ400は仮設定で、枕止め効果・耐荷重は未検証。

2×6材｜寸法図と完成部材表

接合：天板と底板の間に側板を入れ、中棚を側板の間に入れる／板厚を差し引いた寸法を表示





側面（側板透過）

側板：660 − 38 − 38

= 584

中棚：970 − 38×2

= 894

中棚上面 419

中棚下面 381

前面をすべてそろえる

切り出す完成寸法（長さ×奥行×厚さ）

記号・部材	完成寸法 mm	数量	加工・位置
A 天板	970 × 140 × 38	1	側板の上に載せる
B 底板	970 × 128 × 38	1	背面側を12短くする
C・D 側板	584 × 140 × 38	2	背面下端に深さ12×高さ27の切り欠き
E 中棚	894 × 140 × 38	1	前端中心400／下面381に合わせる

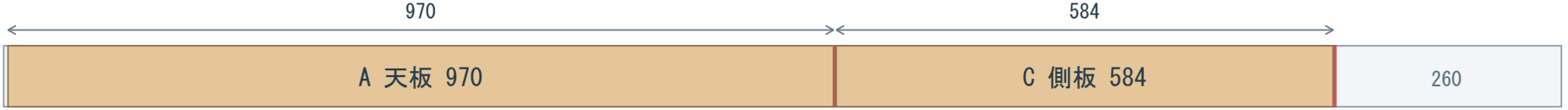
角の丸みや材の反りは図で省略。購入材の実厚・実幅を測り、異なる場合は長さを再計算。

2×6材｜木取り図：長さ方向の切り出し

刃幅（切りしろ）3㎜、両端の整形予備5㎜ずつを仮定／機械・材料によって調整

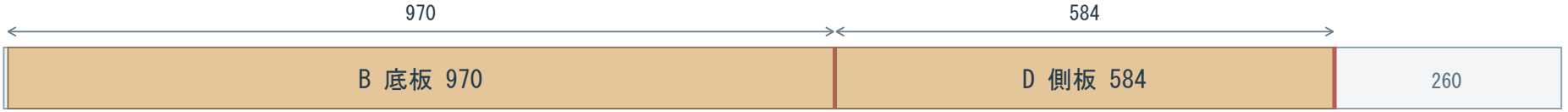
購入材：2×6材 38×140×1830 を3本

1本目：全長 1830



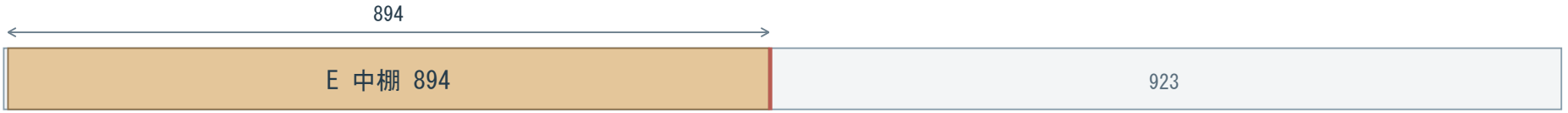
1830 = 端部予備10 + 部材(970 + 584) + 刃幅6 + 残材260

2本目：全長 1830



1830 = 端部予備10 + 部材(970 + 584) + 刃幅6 + 残材260

3本目：全長 1830



1830 = 端部予備10 + 部材(894) + 刃幅3 + 残材923

木材費：1,780円 × 3 = 5,340円（ご指定の単価をそのまま使用）

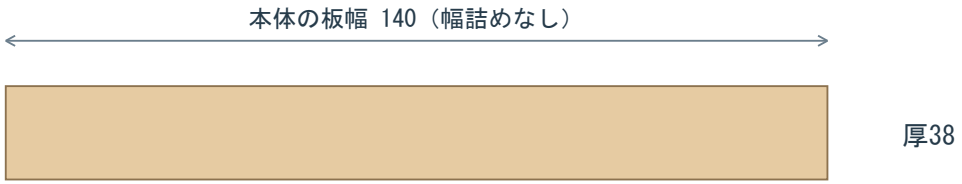
長さの残材合計 1443㎜。端部予備30㎜・横切り刃幅15㎜は別に確保。

加工代・金具・ビス・塗料・送料は含みません。写真の値札とは価格条件を分けています。

2×6材｜幅詰め・巾木よけ・組み立て

切断寸法を現物に写すための詳細図／取付金具の穴位置は、購入する製品の実物で決める

1. 幅方向の加工（長さ方向から見た断面）



A・C・D・Eは幅140のまま使用。B底板だけ背面側を12短くします。

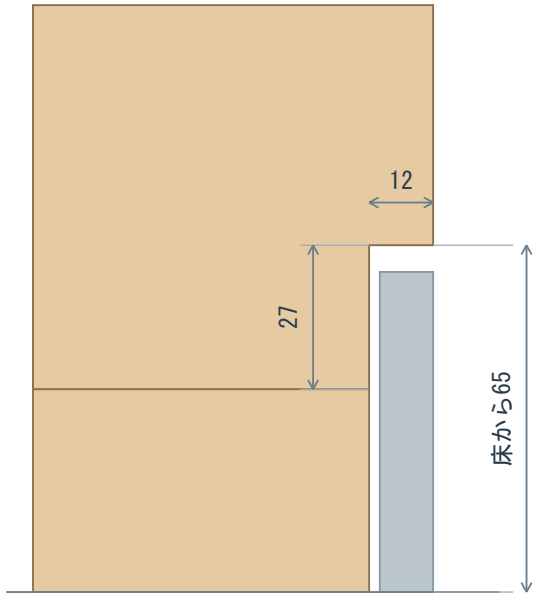
角に丸みがある場合があります。図の角は模式表示です。

2. 底板の奥行を12短くする



赤＝仮の刃幅3、右端＝残り9（合計12）。前面の位置は変えません。

3. 側板の背面下端



側板の切り欠き：深さ12 × 高さ27

27 = 65 − 底板厚38

想定巾木：高さ60・出幅10

現場の巾木を測って逃げを調整。

4. 接合と設置

各水平板の左右をL金具で接合する案（各端に前後2個、計12個）。

金具・ビスは厚みと相手材に適合する製品を選び、下穴をあける。

枕とマットレスで中棚の位置を仮確認してから本固定。

壁・ベッドへの固定は現場条件で別途決定。巾木よけは転倒対策ではない。

耐荷重は未検証。寄りかかる・登る・乳幼児用ガードの用途には使わない。

2×6材｜材料写真と価格条件

IMG_4470～IMG_4473をすべて使用／写真は材料売場の資料であり、自作完成品の写真ではありません



IMG_4470

杉カフェ板の売場と値札。写真の価格は撮影時の表示。



IMG_4471

カフェ板の木口と長辺の凹凸。加工前に有効幅を確認。



IMG_4472

別の板材の価格表示。今回の2×6の単価根拠には使わない。



IMG_4473

カフェ板の表面と節。反り・割れ・仕上げ状態を確認。

費用計算はユーザー指定：2×6材1,780円／カフェ板1,180円。店頭写真の表示とは別条件です。